

千葉市美術館「没後70年 北野恒富展」を開催します ～「画壇の悪魔派」と呼ばれた美人画家の大回顧展を関東で約15年ぶりに開催～

千葉市美術館では、企画展「没後70年 北野恒富展」を開催しますので、お知らせします。
本展は、北野恒富の没後70年を記念し、主要展覧会で発表された名品を中心に、門下生の作品や
関連資料を加えた久々の大回顧展となります。

開催にあたりまして、11月2日（木）15：00から記者の皆さまへの披露説明会を実施します
ので、ぜひ取材にお越しください。

- 1 会期 平成29年11月3日（金・祝）～12月17日（日）
※休館日 11月6日（月）、11月27日（月）、12月4日（月）
- 2 会場 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）
- 3 主催 千葉市美術館、産経新聞社
特別協力 大阪新美術館建設準備室、アートシステム

4 ポイント ◆恒富を関東で見る機会は少ない

北野恒富（1880-1947）は、東京のかぶらききよかた鏑木清方、京都のうえむらしょうえん上村松園と並び、明治から昭和にかけて活躍した大阪の美人画家である。

関東では見る機会の少ない画家で、本展では日本画からポスター、挿絵本、スケッチまでを網羅する約180点を展示する。恒富を紹介する個展としては、関東では2003年に開催された「浪花画壇の悪魔派 北野恒富展」以来、約15年ぶりの大規模な展覧会となる。

◆「画壇の悪魔派」が描く多彩な美人たち

美人画家として活躍した恒富であるが、中にはこれが美人画？と驚くような作品も描いている。特に初期の頃は妖艶で退廃的な女性像に挑み「画壇の悪魔派」と呼ばれるなど、美しさだけでなく官能、凄み、愛らしさといった、人間味あふれる女性を生涯描き続けた。初期から円熟期に至るまでの作風の変化は要注目である。

◆人気を博したポスターの名作

恒富は、当時の一大メディアであった商品販促用のポスターの原画も手がけている。つい目が引き寄せられる片肌脱ぎの女性や、大きな瞳の美人たちの画は、商品の購買意欲を誘うだけでなくポスター自体が増刷されるほどの人気を博した。

本展においては、日本画以上に視覚に訴える、華やかなポスターの数々をお楽しみいただける。

- 5 観覧料 一般 1,200円(960円)、大学生 700円(560円)
※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。
※()内は前売券、団体20人以上の方、市内在住65歳以上の方の料金。
※前売券は、ローソンチケット、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて11月2日まで販売。
※「ごひいき割引」として、本展のチケット(有料)半券の提示で、会期中2回目以降の観覧料を2割引き。
- 6 関連企画 展覧会に関連して、講演会やワークショップなどのイベントを行います。

「没後70年 北野恒富展」披露説明会 開催概要

日時 11月2日(木) 15:00から
場所 千葉市美術館 10階会議室
内容 展示作品をご覧いただき、主な展示作品の見所などを担当学芸員からご説明いたします。

<本件に関するお問い合わせ先> 千葉市美術館 担当学芸員 西山純子
広報担当 磯野 愛
〒260-8733 中央区中央3-10-8
電話 043-221-2311
FAX 043-221-2316
E-Mail isono@ccma-net.jp